

松江圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
松江-1	木材生産倍増プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度において新たに森林経営計画を作成した(H25実績:松江森林組合1,040ha、しまね東部森林組合12,141ha)。これによって安来市民有林の約8割については森林経営計画を樹立。 ・松江市民有林の森林経営計画樹立を促進するための協議を実施。大垣町、鹿島町、宍道町及び東出雲町で地区説明会を実施。 ・主伐候補地の現地調査を実施(しまね東部森林組合と松江市内素材生産事業者A社)。森林所有者との交渉が調い12月から伐採開始(安来市広瀬町 20ha)。 ・合板原木安定取引協定に基づき年度当初から搬出間伐を実施(日新、斐伊川流域森林組合納材協議会)。 ・年度当初から計画的に森林作業道開設に着手 ・しまね東部森林組合は森林再生基金事業(H24)の実績をとりまとめ関係者全員の意識統一を図った。 ・松江森林組合はグラッブルを導入し木材集積・積み込み作業の効率化を実現した。 	木材生産量(m ³)	10,500	9,410	90%
松江-2	県産材製品の新たな需要拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・既存協定に加え新たに松江市内製材所B社が出雲木材市場を通じて素材生産者との原木取引協定を締結した。実際の協定発効時期は26年度。これで県産原木の安定出荷が実現し、さらなる森林整備の促進が期待される。 ・松江森林組合、出雲市内素材生産事業者C社が森林整備加速化・林業再生事業により市内にバイオマス発電用の原木ストックヤード及びチップ工場整備に着手。それに伴い、C社と県内素材生産業者10社との間で新たな原木取引協定が締結され、今まで林内に放置されていた林地残材の利用が期待される。 ・木材協会安来支部会員が中山間地域研究センターにて視察研修。同センターと東部農林振興センターの連携に基づく指導を継続する。 	県産材製品県外出荷量(m ³)	300	282	94%
		<ul style="list-style-type: none"> ・松江市内製材所D社が連携して県外にパレット材の大量出荷を検討開始。このうち1社が出荷を開始した。これによって新たな県外出荷先を確保できた。さらなる製材所間の連携を進める。 ・東出雲町での住宅フェアに2社が出展し、施主にPRを行った。 ・松江市が木材利用方針及び木材利用計画を策定。これによって市が整備する公共建築物に多くの県産材の使用が期待される。 ・松江市内に建設された交番、社会福祉施設、貸店舗に多くの県産材が使用され、多くの利用者に木造の良さを感じてもらえる施設となった。 	顔の見える木材での家づくり活動グループの木造住宅着工戸数(戸・累計)	70	61	87%